

# 県民の森 だより

3 2018  
月号



セリバオウレン

発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801  
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41  
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料  
利用時間：4月～10月/9時～16時30分  
11月～3月/9時～16時

長く続いた寒さも和らぎ、白鳥をはじめ冬の渡り鳥達も毎日のように移動し始めました。陽だまりにあるマンサクの開花が始まり、園内のあちこちで植物も元気に冬芽を膨らませ始めました。春の妖精（スプリング・エフェメラル）と呼ばれている小柄な草本達も芽吹き始め咲き誇る時を今か今かと待っているかのようです。

これから日々明るく賑やかな園内になり、皆様方の期待に応えられる方向に進んでおります。(所長：蜂谷仁)

## セリバオウレンの群生地（3月中旬～）

カタクリやキクザキイチゲなどの春の花々に比べて少し地味ではありますが、セリバオウレンが群生して咲く様子がとても見ごたえがあります。名前は葉がセリに似て、根が黄色く連なっていることによりますが、可憐な白い花は見る人の心を癒してくれることと思います。まだご覧になったことのない方は、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



## 園内は動植物採取禁止です

春の花々の開花シーズンが近づいて参りました。県民の森内の動植物の採取は禁止されています。職員が巡視しておりますが、盗掘や山菜採り等の被害が多々見受けられ、一同心を痛めております。採取している現場を発見した方は、管理事務所までご一報下さい。

## 冬期間道路閉鎖のお知らせ

冬期間中の道路の安全確保のため、サクラ見本園から青麻神社方面への急坂が現在通行止となっております（解除は3月下旬の予定）。ご不便をお掛け致しますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

## 園内防火巡視中（2/15～5/17）

5月17日（木）まで園内の防火巡視を実施しております。散策で園内を利用される皆様方にも、防火にご協力頂きますよう、どうぞよろしくお願い致します。

## 県民の森名木紹介 vol.40 アカガシ

2号幹線、ヒノキ見本林とイオンの森の堺に、葉を旺盛に繁らせた一本の常緑樹があります。アカガシです。

図鑑によれば分布は宮城県以西となっていて、北限に近いようですが、園内にも少しあります。幹径40センチはある立派な個体です。ブナ科コナラ属に分類されている様にドングリを付ける一種です。

道の法面にあり分かり易い所にありますので、ご確認ください。(工藤)

もみーまんが 3月号  
あわかれのませつ



マヒワやツグミなど、名残の冬鳥はまだ見られます！



## 今月の けんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのひとコマ



ハシバミ (カバノキ科) 榛  
オオハシバミ・オヒョウハシバミ

動物のしっぽのようなものが沢山垂れ下がっています。これは花弁のない小さな雄花の穂が集まったもので、黄粉のような花粉が風に揺られ雌花に運ばれます。結実した秋の果実はヘーゼルナッツの味がします。別名のオヒョウハシバミは葉がオヒョウの葉に似ていることによります。(駒野)



ニワトコ (レンブクソウ科)  
庭常 接骨木 (セッコツボク)

春を待ち望んでいるように、葉が展開し、花芽も膨らんできました。髄は白色または淡褐色で、植物実験のピスをつくる材料に利用されています。本種は花や葉を乾燥して、解熱、利尿などの民間薬に、枝や幹の黒焼きは骨折、打ち身などの薬になるといわれ、接骨木の名があります。(駒野)



オオマシコ (アトリ科) 冬鳥  
オス  
全長 17cm

バードウォッチャーあこがれの赤い鳥です。日本への飛来数が少ないため、非常に人気があり、すぐにカメラマンが押し寄せしてしまいます。先月ご紹介したベニマシコよりも一回り大きく、より赤く、存在感が感じられます。園内で見かけた際には、そっと見守って頂きたいと思います。(入岡)



アオジ (ホオジロ科)  
オス ヌス  
留鳥・漂鳥 全長16cm

法面の藪の中で、がさごそと音がする場所をじっと見ていると、アオジが数羽でえさ探しをしていることがあります。とても用心深い鳥で、少しでも危険を感じると、すぐに藪の中へ入って行ってしまいます。オスは目の周りが黒く、お腹の黄色がメスより少し鮮やかです。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「3月・4月のイベント情報」をご覧ください